

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名：『2型糖尿病患者における経口セマグルチドの有効性・安全性に関する検討』

研究機関名：東邦大学薬学部臨床薬学研究室

研究責任者：花井雄貴・講師

### 【試料・情報の利用目的】

取得した試料・情報は、2型糖尿病治療薬であるセマグルチド(販売名:リベルサス錠<sup>®</sup>)の有効性及び安全性を調査することを目的とした研究に利用します。特に、血糖改善作用または副作用に影響する背景因子を明らかにするための検討を行います。この研究で得られる成果は、今後の2型糖尿病に対する治療戦略を考える上で、有益な情報となることが期待されます。

### 【他機関への提供】

本研究は多施設共同研究であり、収集した試料・情報は解析・管理のため東邦大学薬学部臨床薬学研究室(研究責任者:花井雄貴)に提供します。提供は「パスワード付きファイルの電子的配信」の形式で行います。

### 【研究に用いられる試料・情報】

患者背景(性別、年齢、身長、体重、体表面積、主病名、主訴、入院日、既往歴、副作用歴、アレルギー歴、喫煙歴、飲酒歴、投与量、投与日数、透析有無、副作用有無、併用薬等)、薬剤関連項目(セマグルチドの投与量・投与間隔・投与方法・投与日数、セマグルチド投与前後の糖尿病薬の有無・投与量・投与間隔・投与日数等)、臨床検査項目(血液、生化学)等、および副作用の発生状況、等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2021年2月1日以降の診療録に記載された情報の利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大森病院 病院長 瓜田 純久

### 【試料・情報の取得方法】

対象者:2021年2月～2025年12月までに東邦大学医療センター大森病院において、2型糖尿病治療のためにセマグルチドが投与された方。ただし、小児(15歳以下)と透析を施行されている方は除外とします。

方法:診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

**【研究組織】**

代表施設名: 東邦大学薬学部臨床薬学研究室 研究代表者: 花井雄貴 役職: 講師

**研究分担施設**

・東邦大学医療センター大森病院 (共同研究責任者) 薬剤部 部長 松本高広

**【利用する者の範囲】**

・東邦大学薬学部臨床薬学研究室

教授 松尾和廣

・東邦大学医療センター大森病院

薬剤部・主任 西村功史

糖尿病・代謝・内分泌センター・助教 齋藤 学

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学薬学部臨床薬学研究室 研究代表者: 花井雄貴

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年9月30日までに下記へご連絡下さい。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学薬学部臨床薬学研究室

職位・氏名 \_\_\_\_\_ 講師・花井 雄貴

電話 047-472-5314 内線 2930 \_\_\_\_\_